

開催日 平成 30 年 2 月 5 日

1 公的医療機関等 2025 プランについて

- 遠州病院は高度急性期 236 床、急性期 104 床、回復期 60 床だが、病床機能の変更や診療科の見直しは現時点では考えていない。地域完結型の医療を目指し、浜松市中区、南区の中核病院として、病診・病病の連携の推進、地域に根ざした救急医療、災害時医療の貢献をしていく。
- 聖隷浜松病院は高度急性期病床 545 床、急性期 205 床だが、今後も現行の病床機能を維持していく。総合周産期母子医療センター、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、エイズ拠点病院などの当院が担う政策医療のための体制は何としてでも維持し、そのために医師の確保と育成に力を入れていく。

2 第 8 次静岡県保健医療計画（最終案）について

- 保健医療計画に「西部医療圏における在宅医療等の必要量と提供見込み量」という図表があるが、介護医療院の全貌が明らかになればこの図表の数字は大きく変わってくると思われる。介護医療院の役割が明確になってくれば、介護医療院に転換する医療機関が増えるものと思われる。

3 今後の地域医療構想の進め方について

- 30 年度は、休止病棟を有する医療機関や著しく病床稼働率の低い病棟のある公的医療機関から聞き取りを行い、今後の病床運用に関する協議を行うことになっているが、聞き取りを行う医療機関の選定等は 29 年度の病床機能報告データが発表されてから考えるものとする。